

2021年7月20日

Press Release

弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）

学生鑑賞支援プロジェクト supported by 青南商事 実施

弘前市内5大学の学生を対象に、先着1,000名の観覧料を無料



左から：三上館長、福田学長、安東社長、若松さん

弘前れんが倉庫美術館では、弘前市内の5つの大学に在籍する学生に芸術鑑賞の機会を提供する「学生鑑賞支援プロジェクト」を2021年8月1日（日）より実施します。弘前大学・弘前学院大学・柴田学園大学・弘前医療福祉大学・放送大学青森学習センターに在籍する学生を対象に、先着1,000名が当館の展覧会を無料で観覧できます。

地域のクリエイティブ・ハブ（文化創造の拠点）を目指す当館は、次世代を担う学生たちがこのコロナ禍においても多様なアートにふれ、豊かな感性や創造力を育む環境づくりに寄与したいという主旨から、学生鑑賞支援プロジェクトを企画。この取り組みに、日頃よりスポーツや文化芸術活動への支援を積極的に行う、地元株式会社青南商事（本社：青森県弘前市）の協力を得て実現しました。

本日报道向けに開催した発表会では、始めに三上館長より、美術館と大学、地域の企業が連携し、コロナ禍に置いて学生を応援するプロジェクトであることを説明。5大学の代表として登壇した弘前大学福田学長は「文化的側面からも学生を支援いただけることは、大変うれしい。日常的に学生が芸術文化にふれ、豊かな心の醸成とつながる」と期待を寄せました。続いてプロジェクトを支援する株式会社青南商事、安東代表取締役は「支援する機会ができて光栄。音楽、アートの支援の社会における重要性の高さを認識している。アート、スポーツは人生を豊かにする」と述べました。最後に学生を代表して登壇した弘前大学の若松さんは「今、私たちに必要なものは、未知の体験や人とのつながり。美術館は地域と世界を結ぶ場になっている。多くの学生にその人にしかできない体験をしてほしい」と話しました。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川（公）

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

プロジェクト発表会 開催概要

日程 | 2021年7月20日(火) 13:00-13:30

場所 | 弘前れんが倉庫美術館 ライブラリー

登壇者 | 三上雅通(弘前れんが倉庫美術館 館長)

福田眞作(国立大学法人弘前大学 学長/大学コンソーシアム 学都ひろさき 会長)

安東元吉(株式会社青南商事 代表取締役)

若松広也(国立大学法人弘前大学 教育学部 2年)

学生支援プロジェクト 実施概要

名称 | 学生鑑賞支援プロジェクト supported by 青南商事

期間 | 2021年8月1日(日) - 2022年3月末 ※1,000名に達し次第終了

対象 | 弘前大学・弘前学院大学・柴田学園大学・弘前医療福祉大学・放送大学青森学習センターに在籍する学生

先着 1,000名

※大学院生、短期大学部の学生も含む

※参考：弘前市内5大学の学生数は約9,500名

内容 | 学生証を受付で提示すると、展覧会の観覧料が無料。申込み不要。

※利用状況は、当館ウェブサイト <https://www.hirosaki-moca.jp/> で確認できます

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川(公)

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1